

ビジョン
ありたい姿

- 児童生徒が1人1台端末を学校外でも安全に安定したネットワーク環境で、学習や体験活動のDX化を図ることができる。

事業の
概要

- 県立社会教育施設のWi-Fi環境の整備

DX推進の背景・課題

- R3から1人1台端末を活用した授業がスタート
- 県立社会教育施設では、1人1台端末を活用した学習や体験活動にはWi-Fi環境が不十分

1回15分、回数制限あり

利用できるエリアが限定的

課題：
制限されたネットワークでは、学校のように安心して学べない

フィルタリング(有害サイトへのアクセス制限)なし

ネットワーク機器の老朽化

これまでの成果
期待される効果

- 県立社会教育施設で安全に安定したWi-Fiが利用できることで、学習や体験活動が充実。
- R4年度利用者数 (R4.7～) 県立図書館2,201名、香々地青少年の家2,215名、九重青少年の家2,235名の利用。各施設で月平均250名が利用している。

※県立学校の端末は認証方法が異なるため、この数値には含まれない

取組内容

➤ 県立図書館

- これまでWi-Fi環境の無かった学習室等で学習ができる
- 自宅にWi-Fi環境がない児童・生徒も1人1台端末を活用した調べ学習ができる

➤ 香々地・九重青少年の家

- これまでWi-Fi環境の無かった研修室や宿泊棟でインターネットを使った活動ができる

➤ 埋蔵文化財センター・歴史博物館

- 修学旅行や社会見学等で1人1台端末を活用できる
- 展示物の二次元コードを読み取れば、端末でバーチャル学芸員の説明を聞くことができる

安全で安定したWi-Fi環境を提供

【県立学校児童生徒】

1人1台端末は
自動でWi-Fi接続



※県立学校と同じセキュリティ環境で利用可能

【県立特別支援学校高等部生徒】
【市町村立、私立学校児童生徒】



ID・PW
でWi-Fi接続



※県立学校と同等のセキュリティ環境で利用可能

一般の利用者は「おんせんおいたWi-Fi」と同じ条件で利用可能
※フィルタリング有り



調べ学習の様子 (県立図書館)



プラネタリウムの大スクリーンに児童が作成した画面を表示させ発表 (香々地青少年の家)